

科目区分	専門教育科目	授業科目名	領域「人間関係」の指導法Ⅰ			科目コード	26Y204	担当者	小槻 智彩		担当形態	単独	
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修		
授業形態	演習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	領域及び保育内容の指導法に関する科目
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	公認心理師・臨床発達心理士として自治体の母子保健事業や大学附属心理教育相談室における相談業務に従事した経験に基づき、領域「人間関係」のねらい及び内容について授業を行う。									科目に含めることが必要な事項	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

授業の主題	子どもを取り巻く環境や子どもの発達をふまえて領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、保育における子どもの人との関わりや育ちとそれを支える保育者の援助のあり方について学ぶ。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	ミニッツペーパーに記入された内容や質問を次の授業内で紹介し、コメントや回答を行う。
授業の方法	パワーポイントスライドと映像資料を使用した講義形式を基本とし、教員が作成した授業資料を配布する。受講生は各授業の最後にミニッツペーパーを提出する。一部の回ではICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら進める。	アクティブ・ラーニングの実施方法	領域「人間関係」の指導計画について理解を深めるために、受講生はグループディスカッションを行う。また、ICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら議論を行う。授業内容の振り返りを行うために、受講生は毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。

回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	子どもと人間関係：現代の子どもを取り巻く環境と人間関係	事前：現代の子どもを取り巻く環境と人間関係について自分の考えをまとめる。 事後：現代の子どもを取り巻く環境と人間関係について要点をまとめる。
第2回	乳幼児期における人との関わり	事前：乳幼児期の発達の特徴について確認する。 事後：乳幼児期における人との関わりについて要点をまとめる。
第3回	乳児保育における領域「人間関係」につながるねらいと内容、指導計画の検討	事前：乳児保育に関わるねらい及び内容を確認する。 事後：乳児保育の指導計画について検討したことをまとめる。
第4回	1歳以上3歳未満児における領域「人間関係」のねらいと内容、指導計画の検討	事前：1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容を確認する。 事後：1歳以上3歳未満児の保育の指導計画について検討したことをまとめる。
第5回	3歳以上児における領域「人間関係」のねらいと内容、指導計画の検討	事前：3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容を確認する。 事後：3歳以上児の保育の指導計画について検討したことをまとめる。
第6回	領域「人間関係」から捉える「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と小学校とのつながり	事前：「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を確認する。 事後：「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と小学校とのつながりについてまとめる。
第7回	異年齢保育・多文化保育・特別な支援を必要とする子どもの保育	事前：異年齢保育・多文化保育・特別な支援を必要とする子どもの事例を検討し自分の考えをまとめる。 事後：授業内で検討したことをまとめる。
第8回	人間関係における保育者の援助	事前：子どもの人との関わりや育ちに対する保育者の援助について考えをまとめる。 事後：人間関係における保育者の援助について要点をまとめる。

事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回
-----------------------	-----------

教科書 [書名/著者名/出版社]	幼稚園教育要領/文部科学省、幼稚園教育要領解説/文部科学省、保育所保育指針/厚生労働省、保育所保育指針解説/厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領/内閣府・文部科学省・厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説/内閣府・文部科学省・厚生労働省、こどもまんなか社会に活かす「子ども家庭支援の心理学」/立花直樹・津田尚子/晃洋書房	受講生へのメッセージ	子どもを取り巻く環境や子どもの発達をふまえて領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、子どもの人との関わりや育ちを育てる保育について考えていきましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	資質・能力を育む 保育内容 領域 人間関係-こどもにとっての人間関係とは-齊藤崇/教育情報出版、シリーズ・知のゆりかご 子どもの姿からはじめる領域・人間関係/秋田 喜代美・三宅 茂夫/株式会社みらい		

評価基準																
学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	学修成果の配点比率 (%)	評価方法の配点比率 (%)					学修成果の小分類			尺度					
			定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S : 100~90%)	レベル4 (A : 89~80%)	レベル3 (B : 79~70%)	レベル2 (C : 69~60%)	レベル1 (F : 59%以下)
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	尽心	① 学習意欲														
		② 規律性														
	知識・技能	③ 知識	70	40	30				領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、子どもと人の関わりの育ちと保育者の援助を説明できる。	専門的知識	筆記試験 授業内課題 (ミニッツペーパー)	領域「人間関係」のねらい及び内容を十分に理解し、保育者の援助のあり方について他者に説明できる。	領域「人間関係」のねらい及び内容を十分に理解し、保育者の援助のあり方について他者に説明できる。	領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、保育者の援助のあり方について他者に説明できる。	領域「人間関係」のねらい及び内容をある程度理解し、保育者の援助のあり方について他者に説明できる。	領域「人間関係」のねらい及び内容の理解が不十分であり、保育者の援助について他者に説明できない。
		④ 技能														
	創造	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力														
		⑦ 言語活用能力														
	表現	⑧ コミュニケーション力	30					30	自分の考えを説明し、相手の考えを十分に理解して、討議することができる。	話す力 聞く力	グループディスカッション	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することを十分に行いながら、積極的に討議することができる。	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することを十分に行いながら、討議することができる。	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することをある程度行いながら、討議することができる。	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することをある程度行いながら、討議することができる。	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することをある程度行いながら、討議することができる。
		⑨ 主体性														
	実践	⑩ 協働性														
合計		100	40	30			30									